

進め協力隊!!



協力隊通信 vol.8

深浦町地域おこし協力隊 浪岡 敏勇(なみのか としお)

あけましておめでとうございます。新年を迎えるにあたり初心に帰るべく「お遍路」さんのお話です。香川でうどんを勉強していた頃、うどん学校の定休を利用し自転車でお遍路さんの区切り打ちをしました。お参りの作法を学び、納経帳、白衣、納札を手に88か所のお寺を周るのですが、手持ち金が少なくて野宿の毎日。駅からバス停、東屋、遍路小屋、軒下、はたまた墓地横と、屋根さえあれば何処でも宿泊しました。道中、四万十川はじめ、きれいな川での川遊びは最高でしたね。四国には「へんろみち」なる、昔からお遍路さんが歩き開いた道が沢山あります。沢山のお遍路さんがこの道を歩き何を考えたのかと、想いを馳せ進みました。道中程なくすると気付くのですが、お寺の名前に「峰」とか「雲」等、高さを連想させる漢字が入るお寺は難所が多く、山の上にあり、到着予定を狂わされ何度も心を折られました。道に迷い山の中を12キロの自転車を担ぎ3時間。坂道で足止めされ、閉所時間に遅れて御朱印を貰えず、朝から晩まで自転車漕いでお寺一つ。野良猫の夜襲に逢い、荷物の重さに潰されながらも、沢山の方のご接待を受け、無事に88か所を巡り高野山に行ってお参りを済ませ、納経所の方から「錦の納札」をご接待頂いた時初めて結願(終わり)を実感し涙が溢れました。これまでの自分史上最高の夏でしたね。お遍路の始まりは、うどん科同期の家に飾られていた遍路途中の「歯抜けに御朱印された掛け軸」それを見た瞬間、自分も純粋にその先の景色とストーリーを自分の足で見てみたいと強く思いました。進むべき時、見えない力に突き動かされる感覚って、やっぱりあるんですね。総距離約1500キロ。総日数15日間。香川で御朱印頂いた自分の納経帳を久しぶりに開き、あの時間を思い出しています。「生きている人間より怖いものは無いし、優しいものもない」15日間のお遍路、私なりの答えです。



4か月半ぶり、五能線全線開通!

12/23

8月の大雨被害の影響で運休していた五能線。岩館～深浦間は12月9日に、鰺ヶ沢～深浦間は12月23日に運行が再開され、4か月半ぶりの全線開通となりました。

青森～鰺ヶ沢間で運行されていた観光列車「リゾートしらかみ」も12月24日から運行が再開されました。深浦駅ホームでは全線開通を祝って有志らが「おかえり五能線!おめでとう!」と書かれた横断幕を掲げ、歓迎しました。列車から降りた観光客からは笑顔がこぼれていました。



『やさしい日本語』

深浦診療所つうしん No.35



深浦診療所 所長 吉岡 秀樹

英語だけではなく希少な言語を流暢に通訳する日本人と一緒に仕事をしていました。彼らでも医療機関を受診することはひどく嫌がります。医学的な単語や言い回しはわからないからです。

一方、日本でも流暢な日本語を話すガイコクジンもよく見かけます。彼らでも医療機関を受診する際には身構えます。日本の医療者はあまり「優しく」ないので、日本語を話すガイコクジンに対しても、医学的な専門用語や慣用語を使って話してくるからです。

そこで、「やさしい日本語」でガイコクジンとコミュニケーションをしようという活動が提唱されています。「簡単な＝やさしい」言い回しに変えたり、ひらがなで書いたりすることを勧められています。具体的には「いわゆる盲腸なので手術が必要です。抗生剤の投与も必要です。」の代わりに「腹の中の腸の一部分にバイキンが入っています。外科で腹を切って治してもらう必要があります。バイキンを倒す薬を使います。」などと言います。

日本人からすれば冗長な感じがするかもしれませんが、これでも理解されていない時には、さらに簡単な日本語で時間をかけて説明します。

同じようなことが、日本人同士でも当てはまります。

耳が遠い人、理解力が低下している人に対しては同様の配慮が必要となります。

大きな声を出すだけだと怒鳴られているように聞こえます。怒っているわけではないのに、「息子にしかられてばかりだ」という人が多いのはそのためです。大きな声で話すだけではなく、目を合わせてゆっくりとわかりやすい言葉、聞こえやすい言葉と滑舌で話をするのが大切になります。理解力が低下している人は選択することが難しくなっていますから、「どっちにする?」と選択を迫るのではなくそれぞれのメリットデメリットを説明した上で「こちらが良いと思うけどどう?」と促すことも必要になります。

「話し方」ばかり書きましたが、医療者にとってもっと大切なのは「聞く力」です。電子カルテになってからはパソコンの方ばかり向いて話に耳を傾けようとしない医者も増えました。一方で、古風な方は「医者に物申しては失礼になる」と考えるのか、困っていることを全部言わず、医者の説明が理解できていなくてもそのままにしてしまうことがあります。

医者は手をかざし、聴診器を当てるだけで病気を言い当てるような能力はありません。もっとも大切な情報は会話の中から得られます。医者や看護師が話を切り上げようとしても、困っていることがあれば食いついて話をして構いません。長い目で見れば、そのほうが早く診断につながり、治療がスムーズに行くことが多いのです。

「外国人」「外人」という言葉は、差別的に聞こえるため「ガイコクジン」を使用します。

中学校から学んでいる英語で「盲腸＝虫垂炎」「手術」「抗生剤」を言えない日本人が多いように、ガイコクジンからすると難しい日本語単語なのです。

「農地の所有権移転・地目変更・転用許可申請」・
「遺産分割協議」等々
行政事務にかかわる「お悩み」のことについて、
お気軽にご相談を!!

行政書士 岩谷 司 事務所

【青森県行政書士会所属】

住所 038-2501 青森県西津軽郡深浦町大字柳田字築棒沢133番地11
電話・FAX 0173-76-2753



会社やお店の
宣伝・イベントの
告知にご利用
ください!

■問合せ先
総合戦略課
企画調整係
TEL 74-2122